

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	施策	③ スポーツ・レクリエーション環境の整備
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実
主な取組	都市基幹公園等の整備			実施計画記載頁 91
対応する主な課題	⑤生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するため、様々な機能を有したスポーツ・レクリエーション環境の整備、各種スポーツコンベンションに対応した施設の充実を図る必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するためスポーツやレクリエーション活動の場として利用できる総合公園・運動公園等の整備を行う。		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
		70.4% 整備率				73.7%
実施主体	県、市町村					
担当部課【連絡先】	土木建築部都市公園課 【098-866-2035】					
		総合公園、運動公園等の整備				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名		公園費(社会資本交付金、公共投資交付金)					R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
内閣府計上	補助	1,666,402	1,661,919	2,522,266	1,975,156	1,753,220	3,087,958	内閣府計上	○H30年度: スポーツ・レクリエーション活動の場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場施設等の整備を行った。 ○R元(H31)年度: スポーツ・レクリエーション活動の場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場施設等の整備を行う。
予算事業名	-								
主な財源	実施方法	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算見込額	当初予算額	主な財源	平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
内閣府計上	補助	-	-	-	-	-	-	内閣府計上	○H30年度: スポーツ・レクリエーション活動に利用できる場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場等の整備を行った。 ○R元(H31)年度: スポーツ・レクリエーション活動に利用できる場を形成するため、市町村の総合公園、運動公園等において用地買収や園路広場等の整備を行う。

活動指標名	整備率(総合公園、運動公園の整備) (%)				H30年度			H30年度決算見込額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	1,753,220	順調	スポーツ・レクリエーション活動の場として利用できる場を形成するため、県営の総合公園、運動公園等において、用地取得や園路、広場等の公園施設整備を行った。		
	67.3	67.4	69.8	69.9	70.5	70.9	99.4%					
活動指標名	—				H30年度							進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 県営公園及び市町村営公園において、スポーツやレクリエーション活動の場として用地取得や園路、広場等を整備し、整備率が70.5%となった。計画値70.9%には若干至らなかったが、計画通り整備が進んでおり、順調である。
実績値												
	活動指標名	—				H30年度						
実績値												

(2)これまでの改善案の反映状況

平成30年度の取組改善案	反映状況
①公園整備については、公園用地取得に向け、地権者、所有者等の協力が得られるよう粘り強く交渉を続け、市町村を通じ地元自治会や関係者等の協力を得ながら、事業を推進していく。 ②整備効果を早期に発現させるため、部分的な供用も含めて都市公園利用面積拡大を図る。	①公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続け、市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進することができた。 ②公園整備の効果を早期に発現させるため、一部完成した公園については部分的な供用開始に取り組み、供用面積を増加することができた。

様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・公園整備を行うにあたり公園用地の確保が必要となるが、用地取得や物件補償において、事業への理解が得られないことや代替地が確保できない等の理由から、地権者等の同意を得るまでに長期間を要している。

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・公園用地の取得に長期間を要することから、地権者等の同意が早期に得られるよう、市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進する必要がある。また、整備の効果を早期に発現させるため、部分的な供用開始も含めた効率的かつ効果的な整備に努める必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・都市基幹公園等の整備については、引き続き公園用地取得に向け、地権者等の同意が得られるよう粘り強く交渉を続けるとともに、市町村を通じて地元自治会、関係者等の協力を得ながら事業を推進する。
・整備の効果が早期に発現できるよう部分的な供用の可能性についても検証する。

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-イ	「スポーツアイランド沖縄」の形成	施策	③ スポーツ・レクリエーション環境の整備
			施策の小項目名	○スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実
主な取組	がんじゅーどー事業			実施計画記載頁 91
対応する主な課題	① 県民の健康の保持増進に向けて、明るく活力に満ちた生きがいのある生涯スポーツ社会を実現することが必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進する。		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
		2路線	2路線	1路線		
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課 【098-866-2665】					
		歩道整備等				

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)

予算事業名		H26年度					H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画	
主な財源	実施方法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	当初予算額	主な財源				
沖縄振興特別推進交付金																	○H30年度: 安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進するため、2路線で歩道整備等を実施した。 ○R元(H31)年度: 安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進するため、3路線で歩道整備等を実施する。	
一括交付金(ソフト)	直接実施	18,549	142,173	158,929	40,086	27,999	128,843	一括交付金(ソフト)										

予算事業名		H26年度					H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画	
主な財源	実施方法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	当初予算額	主な財源	当初予算額	主な財源	当初予算額	主な財源				
																	○H30年度: ○R元(H31)年度:	

活動指標名	歩道整備等				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	計画策定	5路線	5路線	2路線	2路線	2路線	100.0%	27,999	順調	八重山管内の石垣浅田線において、ラバー舗装を0.15km整備し、宮古管内の高野西里線において、歩道照明を8基整備することで、安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成した。 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 八重山管内の石垣浅田線において、ラバー舗装を0.15km整備し、宮古管内の高野西里線において、歩道照明を8基整備することで、安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成するとともに、計画どおり取り組むことができ、順調であった。
活動指標名	—				H30年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				
活動指標名	—				H30年度					
実績値	—	—	—	—	—	—				

(2) これまでの改善案の反映状況	
平成30年度の取組改善案	反映状況
① 沖縄県の目標である「2040年までに男女とも平均寿命日本一」の達成に向けて、関係機関と連携した県民の健康作りを推進する必要がある。また、それらの連携体制を強化するために「健康長寿おきなわ復活県民会議」などにおいて、事業効果や課題の情報共有を図る。	① 「健康長寿おきなわ復活県民会議」において、進捗状況を報告し情報共有を図ることにより、関係機関に本事業を周知することができた。 県の広報誌である「美ら島沖縄」にて事業の紹介を行い、県民に事業内容やモデルルートの路線を広く周知した。

様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

—

○外部環境の変化

・都道府県別平均寿命の順位で沖縄県は2015年(平成27年)の全国順位が男性36位、女性7位と1985年(昭和60年)を最後に下がり続けており、健康長寿沖縄のイメージが低下している。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・都道府県別平均寿命の順位で沖縄県は2015年(平成27年)の全国順位が男性36位、女性7位と1985年(昭和60年)を最後に下がり続けているため、健康長寿沖縄の復活に向けて、ウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成する必要がある。



4 取組の改善案(Action)

・モデル路線5箇所内、未完成路線3路線の整備を推進することにより、安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成することで、利用者数、運動距離を増加させ、県民の健康増進を図っていく。併せて、モデル路線の認知度を上げるために広報のチラシ等を作成し、周知を図っていく。